



# 岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

2019年第29週  
(7/15~7/21)

令和元年7月26日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

- 手足口病は、前週に引き続き患者報告数が非常に多くなっています。県内の広い範囲で警報レベルの流行となっており、注意が必要です。
- ヘルパンギーナも前週に引き続き多くなっています。
- 伝染性紅斑は、患者報告数の多い状態が続いています。
- RSウイルス感染症は、全国で増加傾向がみられており、県内でも動向に注意が必要です。
- 県内の幼稚園で腸管出血性大腸菌感染症の集団発生がありました。

## ■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ定点:87か所、小児科定点:53か所、眼科定点:11か所、基幹定点:5か所）

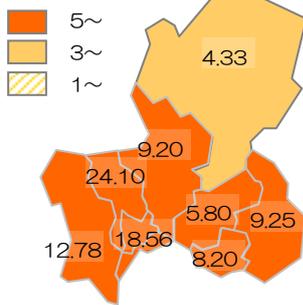
### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	手足口病	定点当たり5人以上 (2人を下回るまで継続)	岐阜市(18.56)、岐阜(24.10)、西濃(12.78)、 関(9.20)、可茂(5.80)、東濃(8.20)、恵那(9.25)
注意報レベル	なし	—	

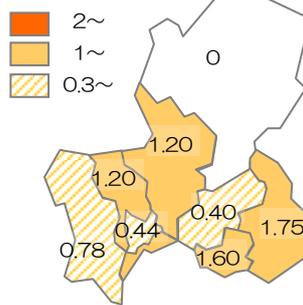
※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。  
警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

### ● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

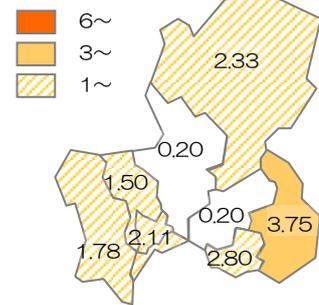
<手足口病>



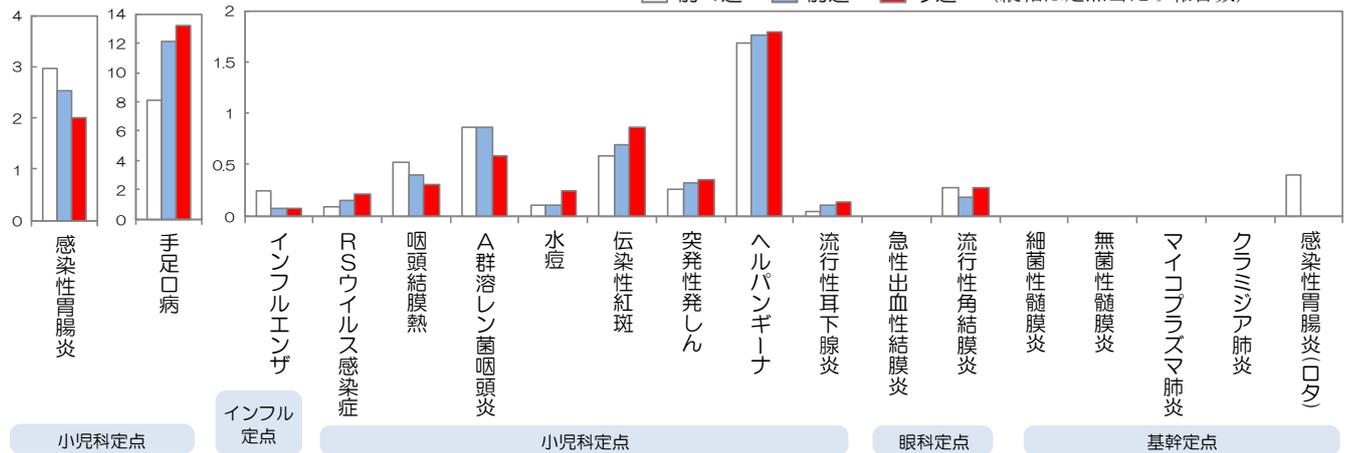
<伝染性紅斑>



<ヘルパンギーナ>



### ● 直近3週の推移



## ■ 全数把握対象疾患の発生動向

### ● 今週届出分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 7例
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 29例\*  
\*幼稚園関連
- 4類感染症：E型肝炎 2例
- 5類感染症：急性弛緩性麻痺 1例、侵襲性肺炎球菌感染症 1例、  
梅毒 2例、破傷風 1例、百日咳 3例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>

<情報編>